



長 崎 県
中小企業家同友会

DOYU

ニュース
21

E-mail jimu@nagasaki.doyu.jp
U R L http://www.nagasaki.doyu.jp

本部事務局 長崎市栄町1-20 大野ビル5F ☎(095)822-0680 FAX (095)824-4623

「私たち中小企業家が長崎県を牽引していく！」
～経営を極めていく企業家集団 会勢700名を達成しよう～

2017年 新春賀詞交歓会 開催!!

日時：1月20日(金) 17:00 会場：サンプリエール



今年の正月三が日は天候に恵まれ穏やかに過ごす事ができました。非常に良いスタートだと思い、この調子で1年過ごせますように祈りました。今年の干支は酉です。昔から申酉騒ぐとの言い伝えが有るそうで今年は賑やかで活発な1年になるのではとされています。その事を予感出来る様にアメリカではトランプ大統領の誕生を始め、ヨーロッパ各国では多くの国政選挙が控え、結果次第では先行き不安と期待が入り混じった1年になるのではとされています。

その様ななか、長崎同友会の4大行事の一つである、賀詞交歓会が開催されました。来賓として里見副知事をはじめ56名もの多くの方にご臨席賜りました。そのうち、今回は初めて全県議の方にご案内を差し上げ長崎地区を中心に22名の方にご臨席賜りました。

ある県議の方から「真面目に経営の勉強をされ、そ

の上に地域の活性化にも取り組まれ、自主的に活動されている同友会は素晴らしい、もっと早くから参加したかった」との感想をいただきました。

里見副知事、県議会吉村農水経済委員長、県議会渡邊前議長に來賓あいさつをいただいた後、里見副知事、宅島長崎県商工会連合会長、山下長崎大学産学戦略本部副本部長、古谷NHK長崎放送局長、松尾代表理事に鏡開きを威勢よくやっていただきました。田上長崎市長に乾杯のご発声いただき交歓会が始まりました。多くの来賓の方との名刺交換や会員同士の新年の挨拶など和やかな雰囲気の中「新年だな～、良いな～」と実感しました。

その後今年は2名の会員さんによる祝演が披露されました。最初に島原支部 金子さんによる西有家太鼓。力強い太鼓の音と躍動感あふれる、鍛えられた若い肉



目次

2017年新春賀詞交歓会 開催報告	1	事務局企業訪問	15
2017年新春賀詞交歓会 ご来賓一覧	2	入会・復会会員紹介	16
1月例会報告	4	会員活躍	17
中同協 第3回(新春)幹事会 参加報告	10	3月例会案内	18
「経営指針成文化と実践の手引き」勉強会 開催報告	12	理事会議事録 抜粋	19
長崎浦上支部 仲間づくりミニ勉強会 開催報告	13	会員消息・会員数	20
私たち、がんばってます! ～新入社員奮闘記～	14		

体美に胸の高鳴りと今年の決意を強くしました。あまりの素晴らしさにアンコールが続き一人で必死に応えた金子さんに拍手喝采でした。

その後、委員会活動アピールがあり、特に来賓の方に同友会活動を理解して貰えるよう工夫された報告が続きました。

その後、二つ目の祝演佐世保支部 小松屋さんによるビートルズ演奏を披露していただきました。失礼ながら年齢を感じさせない演奏とリズム感と張りの有る歌声、演奏後年齢を聞いて驚きました。最後に西村専務理事の中締めにてお開きと成りました。

今回、忘れてならないのは司会をしていただいた長崎浦上支部の大城さん、金田さんです。雰囲気盛り上げたり、きりっと締めたりの司会ぶりはたいへん素晴らしかったと思います。

多くの会員の皆さんの協力により盛会に終える事が出来たと思います。ただ、残念なことは会員の参加が88名と少なかったことです。もっと多くの会員の方と新年の挨拶や抱負を語り合える場に成ることを期待します。

(文責 副代表理事 金井 政春)



2017年 賀詞交歓会 ご来賓の皆様



(順不同)

長崎県 副知事

里見 晋 様

日本政策金融公庫 長崎支店 支店長

鶴丸 真介 様

長崎市 市長

田上 富久 様

日本政策金融公庫 長崎支店 中小企業事業統轄

神庭 義明 様

衆議院議員 富岡勉事務所 事務局長

山崎 直樹 様

日本政策金融公庫 佐世保支店 支店長

長瀬 昭一 様

衆議院議員 加藤寛治事務所 秘書

石本 政弘 様

商工組合中央金庫 長崎支店 支店長

森田 洋司 様

衆議院議員 北村誠吾事務所 事務長

田村 繁幸 様

十八銀行 取締役 常務執行役

中島 博明 様

衆議院議員 高木義明事務所 秘書

平山 繁雄 様

親和銀行 取締役 常務執行役員

山口 健二 様

参議院議員 金子原二郎事務所 秘書

池田 介一 様

長崎大学 産学官連携戦略本部 副本部長

山下 敬彦 様

参議院議員 古賀友一郎事務所 秘書

古賀 竜二 様

長崎県立大学 副学長

平野かよ子 様

長崎県 産業労働部 部長

古川 敬三 様

長崎外国語大学 常務理事

川原 仁幸 様

長崎県 産業労働部 産業政策課 課長

山下 三郎 様

長崎純心大学 キャリアセンター事務室長

小森奈緒子 様

長崎市 商工部 理事

長谷崎耕蔵 様

NHK 長崎放送局 局長

古谷 太郎 様

五島市 商工地域振興課 課長

山下 登 様

NBC 長崎放送 常務取締役

藤井 潤 様

長崎県商工会連合会 会長

宅島 壽雄 様

KTN テレビ長崎 常勤監査役

小川 正信 様

長崎県産業振興財団 専務理事

上原 哲之 様

NIB 長崎国際テレビ 常務取締役 営業局長

森下 豊邦 様

長崎県中小企業団体中央会 専務理事

江口 道信 様

長崎新聞社 取締役 労務・総務・印刷担当
兼経営企画室長

池本 仁史 様

長崎県経営者協会 専務理事

岩根 信弘 様

朝日新聞社 長崎総局長

河野 武士 様

長崎県信用保証協会 専務理事

岩本 公明 様

D-FLAG ながさき出島インキュベータ
チーフ・インキュベーションマネージャー

野村 繁 様

●長崎県議会議員の皆様（政党、選挙区）

（順不同）

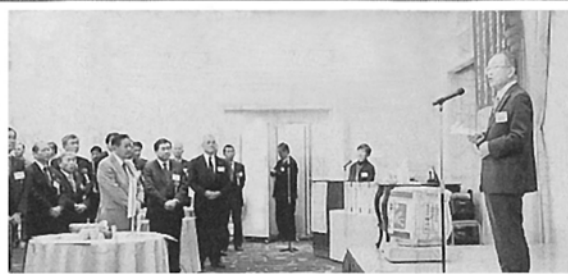
自由民主党 西彼杵郡	三好 徳明 様	自由民主党 南松浦郡	近藤 智昭 様
自由民主党 佐世保市・北松浦郡	溝口芙美雄 様	改革 21 長崎市	渡邊 敏勝 様
自由民主党 西海市	瀬川 光之 様	改革 21 長崎市	吉村 正寿 様
自由民主党 雲仙市	徳永 達也 様	公明党 長崎市	川崎 祥司 様
自由民主党 佐世保市・北松浦郡	外間 雅広 様	公明党 長崎市	麻生 隆 様
自由民主党 長崎市	前田 哲也 様	公明党 佐世保市・北松浦郡	宮本 法広 様
自由民主党 壱岐市	山本 啓介 様	県民役の会 長崎市	高比良 元 様
自由民主党 長崎市	ごうまなみ 様	日本共産党 長崎市	堀江ひとみ 様
自由民主党 佐世保市・北松浦郡	吉村 洋 様	前進・邁進の会 松浦市	友田 吉泰 様
自由民主党 島原市	山本 由夫 様	創爽会 長崎市	浅田眞澄美 様
自由民主党 雲仙市	宅島 寿一 様	愛郷無限。 諫早市	大久保潔重 様

ご臨席 誠にありがとうございました。

長崎新聞 1月25日

新春賀詞交歓会に
会員ら160人が出席
県中小企業家同友会
春賀詞交歓会が20日、長
崎市内であり、会員や来賓
約160人が出席した。松
尾慶一代代表理事は「強靱
な同友会をつくるため地域
に頼りにされる企業づくり
が最も重要」とあいさつし
た。

来賓の里見晋副知事は
「若年層を中心とした人口
流出を抑制するため各種施
策を推進する」と強調し、
中堅製造業の競争力強化や
さまざまな機器をインター
ネットにつなぐ技術「モノ
のインターネット」（I o
I）を活用した生産性向上
などに取り組む考えを示し
た。



賀詞交歓会であいさつする松尾代表理事（右）
＝長崎市元船町、サンプリエール

出席者は田上富久長崎市
長の発声で乾杯し、同会の
発展を祈願した。
（野崎英人）



新商品

長崎さるくマツ

ダスキン栄進
TEL823-7633

瀧川 隆 会員（長崎出島支部）

広告募集

< 4cm x 9cm >

複数月 割引	6ヶ月	12,000→10,000
	4ヶ月	8,000→7,000
	3ヶ月	6,000→5,000

長崎浦上支部 例会報告

日 時	1月17日(火) 18:00
会 場	アストピア
テ ー マ	時代に左右されない発想力 ～アレルギー対応・無添加ピザで世界を狙う!～
報 告 者	(同)HRC 代表社員 安井 忠行 会員



17歳の時に何気なく始めたピザ屋のアルバイト。19歳で店長、23歳で独立と若くして経営者として尽力されている時に、お子さんの乳製品アレルギーが発覚しました。ご自身の作るピザを食べさせることが出来ないことを知り、アレルギー対応のピザを開発する事を決断。これまでの知識を駆使し、米粉とジャガイモを使ったピザ生地はすぐに出来ましたが、安全であることの証明をする事に大変苦労をされたようです。

報告を通して感じたのは、安井さんの仕事に対する前向きな姿勢と逆境をチャンスに変えてしまう発想力の素晴らしさです。アレルギーに対する知識を独学で学ばれ、安全を証明して貰えそうな研究機関探しに奔走され、結果公共機関からのお墨付きを貰えるまでに至るのです。

どんな会社でも必ず一度はピンチが訪れ、マイナス



要因を抱えていることと思います。これまでは「仕方がない。」と割り切っていた所にこそ「チャンスはあるのでは?」と気付かされた内容でした。

グループディスカッションでは、わが社の負の要因をプラス要因に変えられないか?というテーマで、自身では気付かないアイデアを出していただくなど、とても充実したディスカッションが行われました。

懇親会では、安井さん・橋本さんによるバンド演奏もあり、オブザーバー参加の方にも楽しんでいただけたのではないかと思います。

今回も多くのお支部の方にもご参加をいただき、長崎浦上支部今年最初の例会を盛会のうちに終えることができました。

(文責 小川 悟)

長崎出島支部 例会報告

日 時	1月20日(金) 13:30
会 場	松藤プラザ「えきまえ」いきいきひろば
テ ー マ	今年をよりよく過ごすためのメッセージ
報 告 者	(同)ケアネットスクール 山口 奈津江 会員

報告者の山口さんは、2011年からスピリチュアルカウンセラーの仕事をしています。今までに1万人の方々の霊視鑑定をされ、見えない世界からの言葉を聞き、相談者にアドバイスを行っています。経営相談も多く、今回は実際に体験された事例も紹介して



いただき、経営がうまくいくコツや、例会参加者のミニ鑑定を行っていただきました。



山口さんは、幼い頃から不思議な事が好きで、U F Oや霊視・パワースポットなどのテレビや本を読まれていたそうです。

20歳の頃から霊視に関する能力開発のトレーニングを始められました。そのトレーニングとは、F B Iの霊視捜査官が事件を解決するテレビ番組をご覧になった方もいらっしゃるかと思いますが、その捜査官の脳の状態を研究したところ、透視している時に、右脳と左脳の脳波が一致している状態であることが判り、人工的に右脳と左脳の脳波を一致させるというトレーニング方法で能力を開花されました。

またスピリチュアルの仕事をする前、2005年に「火葬場より 女子大生のしみじみノート」を出版。学生時代、火葬場でアルバイトをしていた際に、命の大切さをテーマにブログを書いていたところアクセス数が一番になり出版に至ったそうです。翌年「しあわせの成功ノート」も出版されました。「幸せになる人は、どんな人だろう。こんな事をしたらいい事が起こる。」をテーマにブログを書き、日本版と韓国版を出版され

ました。

経営相談の実際にあった事例を「経営がうまくいく5つのコツ」と題し紹介していただきました。

・「プライベートを充実させる。」

仕事でうまくいかない時には、私生活を充実させる。私生活を満たすと仕事の視点が変わり仕事のモチベーションが高まる。

・「事業に感謝する。」

事業に「ありがとう」と感謝すると、いいエネルギーが生まれる。

・「直感を大切にする。」

直感で「わくわくする」と感じた時は、そっちに行ってもいいサイン。逆に「なんだか気が乗らない」と感じた時は、スムーズに行かない時もあり、自分の直感や感性を大切に行動する。

・「自分の心を把握する。」

今の自分は何を感じているのか？を把握する事が大切。瞑想したり、リラックスした時間を作り、自分が今感じている事に気付く事も大切。

・「笑うこと」

笑うことは、アイデアや発想の転換が出来るので積極的に笑う時間を作る。

後半は、出席者の仕事に関する事、プライベートに関する事等々を鑑定をしていただきました。

最後に参加者全員へ今年をよりよく過ごす為のメッセージを話していただき、新年に相応しい気持ちが前向きになる例会でした。

(文責 加瀬 和利)

大村支部 例会報告

日 時	1月24日(火) 18:30
会 場	長崎インターナショナル
テ ー マ	慶祝例会

毎年恒例の慶祝例会として開催されました。当日の午前中に富松神社にて還暦、厄入り、厄払いの会員（今年は6名の会員が対象）のお祓いを行いました。

例会は、上谷支部長の新年の挨拶の後、出席した会員各々が新年の抱負を色紙にしたため、開始となりました。会員同士お酒を酌み交わしながら旧年中の反省や年末年始の出来事、そして新年の目標など、様々な話題で盛り上がっていました。

途中、委員会ごとに初めにしたためた新年の抱負発表があり、各会員の抱負に加えていい報告も聞け、充実した時間となりました。

今年も昨年同様に大村支部を会員全員で例会をはじ



め各委員会活動などを通じて盛り上げていき、会の活動を活性化しながら多くの共に学びあう仲間が増えていけばいいなと思える会となりました。また来月以降の例会が楽しみです。

(文責 橋口 仁一)

諫早支部 例会報告

日 時	1月16日(月) 18:30
会 場	諫早観光ホテル 道具屋
テ ー マ	諫早市政と中小企業対策 ～産学連携から産学官連携へ～
報 告 者	諫早市長 宮本 明雄 氏



新年最初、また、市長の報告ということもあり、多くのゲストの方々にも参加していただき、新年のスタートに相応しい例会となりました。

宮本市長は、2012年3月例会にお越しいただき、諫早市の財政状況や未来に向けて、諫早市の進むべき方向性などをお話していただきました。今回は国内における社会問題に触れ、国や近隣都市と比較し諫早市の現状とこれからの課題、その課題への対策についてという内容でした。

現状として、諫早市においても少子高齢化、人口減少の進展による活力低下が懸念されており、生産年齢人口（15～64歳）の減少抑制が課題。その対策としては、政策的「為」（サービス・医療・教育・子育て環境の充実）「職」（雇用創出・産業の振興）「住」（土地開発の推進）」の推進を図り、特に地元の中小企業



において、商工業の振興策の強化など地場産業の特徴を活かし、総合的に地域の魅力をアップさせ継続していくことで、魅力ある創造都市をつくるということでした。

質疑応答では、中小企業振興基本条例や現在諫早支部が産学連携として行っている長崎ウエスレヤン大学との包括協定にも触れ、今後、産学官が連携し、諫早の経済界が一体となって地域を活性していくべきとのお答えもいただきました。

報告の中で印象に残ったことは、今後諫早市が発展していくために、ないものねだりではなく、今ある諫早の良いところ、まだ活かし切れていない魅力を伸ばし、自立した都市を目指すことが大切であるということです。

「中小企業の発展こそが、地域の発展に繋がる」諫早の地で発展を目指す中小企業にとって、未来へのビジョンを再確認できる例会でした。

(文責 太田 陽)

島原支部 例会報告

日 時	1月19日(木) 19:00
会 場	HOTEL シーサイド島原
テ ー マ	古川隆三郎市長 新春記念講演 ～2017年の島原市を考える～
報 告 者	島原市長 古川 隆三郎 氏

高校卒業後 島原を離れ都会へ移り住む若者は9割にも上り、一方で30代前後になると帰郷する者が多いのも現在の島原市の特徴です。それを生かし、地方に住みながらICT・IoT・SNSを活用し、都会そして世界へ島原の特産品を売り込んだり、市職員をITベンチャー企業へ派遣することでアイデアや人脈



の拡大にも力を入れられています。

また「第2子以降の保育料無料化」「医療費助成」という子育て支援により子育てしやすい環境づくりが



なされています。

若者が島原で安心して仕事ができ子育てできる環境づくりが一番の地方創生になっていくのだと思います。質疑応答も多く行われ、多くの気づきや島原への



それぞれの思いを考えることができた初春を飾るに相応しい有意義な時間でした

(文責 入江 好美)

佐世保支部 例会報告

日 時	1月17日(火) 18:00
会 場	魚魚の宿
テ ー マ	慶祝例会



今年は還暦3名及び厄入り6名の9名が慶祝対象者に該当し、当日は46名（うち、慶祝対象者3名）の参加となりました。

今回も支部会員でもある魚魚の宿の小松屋さんの計らいにより、会場に神主様にお出いただき祈願を行いました。その後、慶祝例会を開始しました。尾崎支部長のあいさつ、オブザーバーの紹介、新入会員バッジ贈呈、松尾代表理事による乾杯と続き、前年と同様、マグロの解体ショーを楽しみながらの歓談となりました。その後、小松屋さんらによるバンドの演奏、慶祝対象者の紹介、そしてオブザーバーの迎さんによるハーブの演奏がありました。最後に、今回も大変お世話いただいた小松屋さんによる中締めにより、慶祝例会は滞りなくお開きとなりました。今回の慶祝例会が滞りなく開催できましたことは、魚魚の宿の小松屋さんと船津さん、支部役員並びに例会参加者の皆さんの



お蔭です。深く感謝申し上げます。

今回も祈願を例会会場で行ったことにより、参加者全員で祈願を見守ることができ、大変良かったと思います。反省点としては、慶祝対象者の参加割合が減少したことです。

毎年、慶祝例会の報告の都度述べていることですが、役員は日々本業をこなしながらの会務活動ゆえ、限界がありますので、案内のサポートを含め、事務局をより有効に活用できないものかと思います。同じく、数年前と比べて会員数が相当増えており、これによる支部会員の状況把握、支部例会及び支部総会の運営並び



に支部予算の執行がますます難しくなってきました。よりよい支部運営が行えるよう、支部会員の皆さんにおかれましては、支部活動へのさらなるご協力の



ほど、よろしくお願い申し上げます。

(文責 東島 誉志)

北松浦支部 例会報告

日 時	1月19日(木) 18:30
会 場	サンパーク吉井
テ ー マ	会員セミナー
報 告 者	(株)エイコー商事 代表取締役 富川 栄治 会員



同友会が推進する三位一体の経営である「経営指針づくり」「共同求人」「社員教育」の重要性と「良い会社にする為のポイント」について大変わかり易く報告していただきました。

・「経営指針づくり」

経営理念はいつでも変更可能であるからそれよりも数値の目標や分析が必要であること。また、現状把握や計数目標は社員と共有化し、何よりも経営指針を成文化することが最重要課題であるということでした。

・「共同求人」

富川さんは大変重要視されていますが長崎県同友会としての動きがなかなか始まらないので非常に残念がっておられました。富川さんは単独では学校訪問など積極的に動いておられるそうです。

・「社員教育」

お金をかけるというより時間をかけることが大切。また、優秀な人材確保の為にも労働時間や休日の福利厚生面での充実が今の時代には必要不可欠。その為にも余剰人員の確保も必要。昔と違い今の優秀な若者は、短時間できちんと仕事をこなし、その分余暇や休日をきちんともらえる会社を選ぶ時の条件にする、という話を聞きながら非常に考えさせられました。

「良い会社にするためのポイント」は、まず経営者の資質、人格、ではないのかと思いました。素直、前向き、勤勉、心や身の回りの清潔整理整頓、笑い感謝、社員とともに、五戒に注意、お金の流れをきれいに、早い決断決済、運がいいと思う、社員をできるだけ多く採用、すべてに感謝、経営計画は必須、ワンマン経営からの脱却、業績の公表、人に対する見極め、会社



の新陳代謝、下請を大切に、適度な値切交渉、継続し続ける。

良い会社のポイントのなかで成長する会社は、新陳代謝が盛んでそれは、優秀な人材を確保する為にも常に人材の入れ替えをしながら会社の新陳代謝を促進させるという話が非常に印象に残りました。

その後「我が社の経営でなすべきこと」でグループディスカッションをおこないました。

今回、攻めの経営とはこういうものだと感じるいい機会をいただきとても勉強になりました。

(文責 熊屋 弘子)

五島支部 例会報告

日 時	1月18日(水) 18:30
会 場	観光ビル はたなか
テ ー マ	劇的に成果を生み出す行動力 ～沢山の出会いで学んだ事～
報 告 者	村上彫刻 副代表 村上 敦子 会員(佐世保支部)



新年最初の例会は様々な支部や他県で報告をされている村上敦子さんにお願ひしました。「どんなときも強くたくましくならんば!」という女手一つで育ててくれた母親の言葉を胸に刻んで人生を歩んできた村上さんは、前職場で若くして役職についたことから、肩肘張って仕事をしていましたが、上司から「男になる必要はない」というアドバイスをもらって、自分らしい働き方、組織においての個人の役割等を考え学んだそうです。

結婚し子育てが少し落ち着いたことや先代が亡くなったことで、村上彫刻で本格的に働くようになり、職人気質のご主人と、営業職で仕事をしてきた村上さ



んとは反りが合わず、意見が対立したそうですが、それぞれ製造、営業と担当することを決めて仕事をしたところ、うまく回りだしたそうです。その中で、時代の変遷とともに商品需要の変化を感じた村上さんは新しい商品開発に着手し、現在そちらに取り組まれているそうです。

同友会との関わりについては、結婚後、経営側になり、そのようなことを学ぶ場がないかと、元々知り合いだった山領さん(今回座長を務めていただきました)に相談したところ、同友会を紹介されすぐ入会されたそうです。入会後も様々な方との出会いを大切に、意見を聞き素直にスポンジのように吸収し、実践してきたところ、仕事だけでなく家庭や子育ても良い方向に向かっていったそうです。経営指針についても入会から間もなく作ることを決断し、経営計画発表会に向かって手探りで邁進した結果、村上彫刻が向かうべき方向性が見えたそうで、こちら同友会の会員全員が見習うべき行動ではないでしょうか。

今回、五島支部の会員も村上さんのバイタリティ溢れる実践する力の大切さの報告を聞いて、大きな刺激を受けましたので、今後の変化に期待したいと思います。

(文責 勝本 政裕)

青年経営者会 例会報告

日 時	1月16日(月) 19:00
会 場	同友会事務局
テ ー マ	九州沖縄エリア青年経営者合同例会 ～第3分科会シミュレーション～
報 告 者	ブライアント(株) 代表取締役 橋口 久 会員(佐世保支部)



2月3日に福岡で開催される、九州沖縄エリア青年経営者合同例会で私たち長崎の青年経営者会が担当する第3分科会「作って・使って・進化する経営指針」のシミュレーションをおこないました。

報告者は佐世保支部の橋口さんです。2回ほどの打ち合わせを行い、以前の報告内容をブラッシュアップしたものでしたが、橋口さんの豊富な経験と挫折や苦悩の中でやってみることの大切さや、経営指針がなぜ必要なのかを学ぶことが出来る分科会になるのではない



かと思いました。

グループディスカッションのテーマも「計画書は誰のため、何のため、なぜ必要だと思いますか」に決定し深い学びが出来るテーマになりました。詳しい内容は来月号にて報告いたします。

今年初めて開催する合同例会ですが、今まであまり交流がなかった九州そして全国の青年経営者が集まり切磋琢磨し刺激を貰える場として、「日帰り出来る青全交」という考えから九州沖縄の地で開催する事にし、日々プレイヤーとしても働く若手経営者の方達にも身近に全国大会の学びを感じて貰えるようにと毎月集まり取り組んでできました。ぜひ“青年”ではない方も参加していただき、今の若手経営者の思いや実践してきたことを知っていただき、今後の事業承継や良い会社作りに活かしていただければと思っております。

(文責 山口 善也)

中同協 第3回(新春)幹事会 参加報告

開催日：1月13・14日(金・土) 会場：中野サンプラザ

代表理事 松尾 慶一

今回は、金井副代表理事にも参加もいただき峰事務局次長と3名で臨みました。毎年この幹事会は、中野サンプラザで開かれ参加者も増えています。

鋤柄会長以下中同協15名をはじめ全国から152名、会場も溢れんばかりの167名の参加で今期、第3回目の幹事会が始まりました。私は第2グループで埼玉・大阪の代表理事、東京・広島・岡山の理事、京都の専務理事、山形の事務局長、鹿児島事務局長と同席し久々のグループ長をさせていただきました。

広浜幹事長の次年度重点方針案を1時間拝聴した後、各地の景況や重点方針の話をしていただきましたが各県とにかく凄いのです。特に大阪の小グループ活動は20人以内で組織され各企業を訪問して悩みや課



題を掘り下げ、どうすれば改善出来るかを導き出していくそうです。また各地区の活動には事務局員は参加せず事務局の仕事に専念してもらうそうです。終いには支部活動費が余ってしょうがないと聞かされ、唖然としてしまいました。また京都では調査活動に力を入

れていて、経営指針策定の達成率や景況調査もデータ化されていましたが、課題として会員の企業規模によって調査内容も変えなければならないのかと悩まれていました。

討論テーマの、人を生かす強靱な体質の同友会を如何にして作るかという話も活発な意見が出ましたが、広浜幹事長も加わった中でとどのつまり企業づくりが一番となりました。社員さんからも地域からもあてにされる企業をつくるのが企業の発展に繋がり、それにより同友会を成長させていくのだとグループでは纏まりました。

2時間のグループ討論も、あっという間に終わり、

中村副会長から新しい金融方針について1時間講義をしていただき、嘗てみんなで取り組んだ金融アセスメント法制定運動を再認識できました。

翌日の午前中は1時間、中同協の報告事項と審議事項をいただいた後、慶応大学の上田教授から2017年の世界情勢を1時間講義していただきき終了しましたが、中村副会長の閉会挨拶で、「これからが大事なのですよ皆さんは帰って2日間の学びを各地同友会の会員さんに判り易く伝えなければならないのです」と言われて襟を正しました。更に午後から3時間、中同協の第2回財務委員会に出席し課題をも学びました。

副代表理事 金井 政春

皆さんご存知かと思いますが、中同協幹事会の中同協の役員、各県の代表理事、副代表理事、事務局が集まる会です。全国各地で同友会活動に邁進されている意識の高い方ばかりなので毎回緊張感を持って参加しています。

今回の主な議題は7月の定時総会へ向けて活動方針案の検討、各地の景況報告、重点方針の意見交換。その他今年開催される全国行事の経過報告等がありました。本年度の課題と活動方針案の詳しい内容は中小企業家しんぶん6月5日号で発表されますが、方針案の概略は①財務・労務など、経営者としての経営基礎力の強化 ②人材確保難はさらに強まり、若者に選ばれる企業づくり・地域づくりに向けた取組へ ③2019年中同協設立50周年5万名へ向けた取組 ④「地域」と自社のかかわりを経営理念に盛り込み企業づくり、憲章・条例運動を両輪にしていく取組、外部連携の強化 ⑤役員・事務局の世代交代への計画的対応すすめ、「理念」と同友会前史など歴史認識の継承でした。

上記のことを実現可能にする為に労使見解を学び、経営者の姿勢を確立し「人を生かす経営」の総合実践で新たな仕事づくりと企業体質の強化をめざした「企業づくり」が大切です。

同友会運動を地域に発信し「中小企業が地域の展望をつくる」また、金融環境の変化をつかみ、金融機関との連携強化による「地域づくり・経営環境改善」。



その他にも環境経営・省エネ・省資源への取り組みで「エネルギーシフトの学習と実践を」。自然災害への企業・地域・同友会での対策と対応「大災害からの復興と自然災害への対応・対策」。同友会理念を学び実践する企業を地域に増やし中同協設立50周年を5万名会員で「同友会づくり」。以上のような提案が総会で決議されると思います。

各地の景況報告では人材不足が共通の重大課題でした。その他震災復興が盛んで建設業は活発ながらも莫大な補助金で過大投資した水産業をはじめとする企業が返済に行き詰るケースが増えてきたとの報告もありました。

ただ、時流に乗る経営は大切ですが5年後、10年後を見据えた経営も大切だと思いました。全国各地からの学びを長崎同友会の活動へ活かしていけるよう微力ながら尽力しなければとの思いも持って帰りました。参加させていただき有難うございました。

事務局次長 峰 圭太

1日目第2部中村副会長からの「新しい金融方針」、2日目慶応大学植田先生からの2017年情勢など、

現在の中小企業を取り巻く環境は先行きが不透明なのか、日々の変化が予想されます。そのような情勢を受け、1日目の第1部で広浜幹事長から提案いただいた次年度議案の重点方針案（骨子）は再度人を生かす経

営を軸とした強靱な企業をつくと同時に強靱な同友会づくりを推進していくことが必要だと確認させていただきました。グループディスカッションでも上記を実現するため、経営指針に基づいた経営を実践し、代表役員が語り部となり「何のために経営しているのか」を問う姿勢が重要だとまとめました。同時に強靱な同友会づくりのためには健全な財政基盤を確立する。会費の設定や会計の在り方などしっかりと議論を重ねていくことが必要だという学びをいただきました。

外部からの期待が高まるなか、同友会の立ち位置を再度確認し、企業づくりにおいては常に胸を張る状態にする。役員が歩く広告塔として語り部になる、そして「自主・民主・連帯」の精神に基づき主体的な運動を展開していくという広浜幹事長のまとめ通り、このような意識を常に持つことで思考が具現化されていく



ものと思います。幹事会に出席した役割として中同協の議案骨子を理解し、長崎同友会の運動に生かせるよう役員の皆さんと共有し、愚直に謙虚に運動をデザインしプロデュースできるよう私自身見識を深めていきたいと思っています。

「経営指針成文化と実践の手引き」勉強会 開催報告

開催日時：1月26日(木) 18:00 会場：つくば倶楽部



今回、「経営指針成文化と実践の手引き」の発刊に伴い勉強会が開催され18名が参加されました。従来使用してきました「経営指針の手引き」からの主な改訂点、ならびに新しく追加された部分についての説明がなされました。

まず、宇土委員長より中同協の経営労働委員会の活動方針資料を基に説明がありました。経営指針成文化の運動は全国的に広がりましたが、経営指針に「労使見解」が反映されているか、実践し成果につながっているかが課題となっており、「経営指針成文化と実践の手引き」では、「強じんな企業体質をつくる『人を生かす経営』の総合実践」というテーマの中で、「経営指針成文化から実践運動へ」ということで「成果の出せる企業づくりの推進」という方針が出されています。

今回発刊された「経営指針成文化と実践の手引き」では、経営方針を構成する要素として新たに「ビジョン」を加え、『経営理念』『10年ビジョン』『経営方針』『経営計画』の4つをあわせて『経営指針』という」と定義し、実践につながる内容に改訂された旨の報告がありました。新たに加わった「10年ビジョン」とは、3年から5年の中期計画の延長線上のもの(現状



の積み上げをする発想)ではなく、将来のありたい姿を描くということであり、その「ワクワク感」があってこそ皆のやる気が湧いてくるもの、という発想には共感いたしました。以前からありましたが実態としてなかなか機能していなかった「企業変革支援プログラム」についても必要性の再認識がされています。

その後は、新しく発刊された「経営指針成文化と実践の手引き」の第1章から第7章について金井副代表と宇土委員長によりテキストに沿った形で解説いただきました。今まで、同友会では「経営指針」は経営の根幹(価値判断の基準)であり、経営者としては不可欠なものとして重視し勉強してきました。しかし、実態としては「経営計画」までを作成している会員が非常に少なくまた、作成していたとしても定期的な見直しが出来ていない企業が多いと聞いております。「経営指針を実践出来ない企業は残念ながら生き残れ

ていない」という結果も聞いており「経営指針」の重要性は認識していながらも「経営指針作成」に難しさを感じていたのも事実だと思います。

今回、「10年ビジョン」が加わったことにより。「思いをまとめる」→「10年後どうありたいか」→「3～5年先の目標」→「現状認識」→「それを達成するために今、何をしなければならないか(経営計画)」の流れとなり、作成に必要なシート類も入っておりますので「これなら作成しやすい」感じました。

県の経営労働委員会としての今後の活動方針についても案内があり、「経営指針成文化と実践の手引き」を1章ずつ進めていく「経営指針勉強会(仮称)」や、会員社労士の支援を受けての「就業規則・労使関係見直し勉強会」の開催を予定されているとのことでした。「経営理念作成」についても各支部にて実施予定との



ことです。

今回も大変勉強になりましたので、今後多くの会員の方にご参加いただければと思います。

(文責 大村支部 出口 博基)

長崎浦上支部 仲間づくりミニ勉強会 開催報告

開催日時：1月25日(水)19:00 会場：プライムステージ

テーマ：仲間づくり委員会ミニ勉強会 「事業承継実例報告会」

報告者：山崎 晃 会員 / 飛田 精一 会員 / 山崎 功 会員(長崎浦上支部会員)



昨年11月から始めました5か月連続のミニ例会の第3弾には、オブザーバー1名を含めた13名に参加いただきました。実際に事業承継を経験した3名が、①スムーズに承継できた例 ②承継がうまくいかなかった例③承継した後、会社を辞めた例としてそれぞれの経験談を報告していただきました。

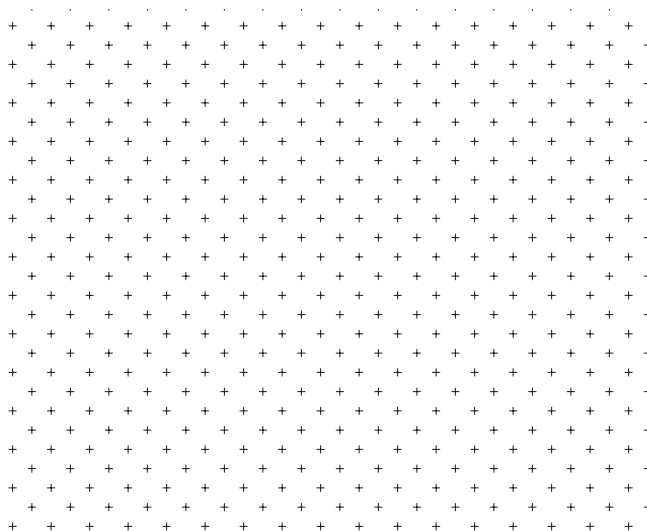
3名とも報告に熱が入り過ぎたため、時間内に収まらず、急遽予定されたグループディスカッションを割愛し、質疑応答に変更しました。報告者の回答から、バトンを引き継ぐ側は、父親の事業継続に対する熱い想いを認識し、親を敬う素直な心で事業承継に取り組む事も重要であると気づかされました。

この仲間づくり委員会が主催するミニ例会の目的はオブザーバーの方が通常の例会以外に気軽に参加でき

る機会をつくり、同友会を知っていただく場を増やそうというものです。これまでに開催した3回のミニ例会に延べ4名のオブザーバーに参加いただきました。ただ残念ながらここからの入会という結果はまだ出ていません。今までの反省を踏まえ、このあと予定されている2月・3月のミニ例会では、会員の皆さんが余裕をもってオブザーバーに声掛けできるよう準備と告知を早めに行っていきます。

今後も仲間づくり活動にご理解とご協力をお願いいたします！

(文責 長崎浦上支部 山崎 功)



私たち、がんばってます!!

～新入社員奮闘記～

2015年度長崎同友会初の合同入社式第1期生本田さん(白山陶器(株):佐世保支部)、岩永さん、杉山さん(ともに(有)山崎マーク:佐世保支部)。入社して1年が経った「今」取材しました。



白山陶器(株)

本田 優有希 さん

■今のお仕事内容を教えてください

昨年の3月から東京ショールームに異動となり、店頭でお客様の接客を主に行っています。異動当初は環境の違いやお客様の層の違いなど戸惑いもありましたが、お客様のご要望に合わせて提案した商品をお買い求めいただき、感謝の言葉をいただくととても嬉しいです。

■入社してから自分が成長したと感じる点を教えてください

接客を通してお客様との会話も増え、少しずつコミュニケーションを取ることに慣れてきたように感じます。本社ショールームも他県のお客様は多かったのですが、東京ショールームでは白山陶器をご存知ない方や外国の方も多くいらっしゃいます。陳列している商品以外でもカタログなどをご覧いただき商品をご提案しますのでコミュニケーション能力をもっと高めていきたいです。

■今後の目標を教えてください

本社にいた時と今では生活のリズムが異なるため、まずはしっかりと自己管理をすること。また商品知識以外でも一つひとつをあやふやにせずしっかりと身に付けて今後入社してくるかもしれないスタッフに教えることができるよう努力していきたいです。



(有)山崎マーク

岩永 桃枝 さん

■今のお仕事内容を教えてください

お客様の漠然としたイメージからデザインをあげたり、持参いただいた写真などの素材をTシャツやマグカップなどに配置するなど、デザインの全般と、実際に製品に加工する部署への版づくりなどを行っています。

■仕事をする上で気がけていることはありますか

自分一人ですべて完結するのではなく、デザインから加工まで色々なスタッフとコミュニケーションをとりながら仕事を進めなければならないので意思の疎通は大事だと思います。先輩社員の皆さんと連携しながら日々頑張っています。

■仕事のやりがいと今後の目標を教えてください

もともとデザインの仕事をしたかったので楽しいです。お客様が納得していただく内容に仕上がった時の喜びは大きいです。今後は「自分に向いているデザイン」を追求し、日々の中でミスをしないようにしていきたいと思います。そのためにも経験を積み力をつけていきたいと思います。細部までこだわり、かつデザインだけでなく全体の仕事がスムーズに流れるよう勉強していきたいと思います。



(有)山崎マーク

杉山 弥生 さん

■社会人になって自分が変わったと思う部分がありますか

高校卒業後、デザイン関係の専門学校を出て入社しました。私が携わるデザインの仕事で全てが決まると思うのでその責任は大きいと思います。経験を積むうちに一つひとつのデザインに迷う事がなくなり、判断できるようになったことも自分なりに成長したと感じる点です。先輩のスピードや仕事の進め方を学びながら難しいデザインにも挑戦していきたいです。

■自分がデザインした商品を見た時の感想を教えてください

素直に嬉しいです。「あれは私がデザインした商品」と教えた時の家族や周囲の人から感心や驚きの反応も私の自信につながります。時間がかかったり、苦労した商品は特に嬉しく思います。

■今後の目標を教えてください

まずはミスをなくすことです。同じミスを繰り返さないよう、注意点を紙に書いて机に貼っています。また今までできなかったことができるように複雑なデザインにも挑戦していきたいです。そして経験を積みその経験を自信にしていきたいです。商品や会社が口コミで広がるようにデザインの仕事を精いっぱい頑張っていきます。

事務局企業訪問

今回は島原支部総務委員長としてご活躍の(有)北浦木材 北浦 雄一さんにお話を伺いました。



(有)北浦木材は1949年に造船用の製材所として北浦さんの曾祖父が創業。造船用の製材の需要が落ち込むとともに建築用の製材所、そして現在の木材・新建材の販売へと時代の変化とともに業態を変えていきました。

北浦さんは大学卒業後に建材メーカーに就職。ちょうど3年経った時、北浦さんのお父様が心筋梗塞で倒れました。その時勤めていた会社の先行きを不安に思うこともあり、島原に戻り家業を継ぐことを決意します。

＜再建のための取り組み＞

1998年頃、製材業がメインであった時に、大手の製材メーカーでは工場の大規模化がすすみ、激しい価格競争が起こりました。会社は大変苦しく倒産も危ぶまれる状況のなかで北浦さんは入社し、ともに再建に取り組むことになります。

再建にあたり、業態を製材から木材の販売にシフトをしました。取引先はほとんど島原ということもあり、地域密着・小回りが効くことを強みとして、注文があれば2時間ほどでスピーディーな配達を行いました。

また、北浦さんは物売りから脱却するために、とにかく現場に入るようになりました。以前は注文があっても、欠品していれば「ありません」で終わっていましたが、現場に入ることによって工事の工程が分かるようになりました。もし注文の品が欠品であっても、工事の工程を把握しているため、別の箇所の工事用の建材の提案ができ、販売をする機会を逃さず、現場としても大工さんを遊ばせることをなくすことができました。

さらに現場で大工さんから問い合わせを多くいただくようになり、その質問に答えるために勉強することで知識の蓄積にもつながりました。

こうした取り組みで、ただの物売りから建てる側に入ってサポートできるようになりホームセンターとの差別化ができ、他所と価格だけで比べられることがグンと減ったと語ります。



＜経営理念の策定＞

今まではいろいろと手を出しながらふらふらとしてきたので、向かう所を明確にしたいという思いから、昨年11月の経営理念策定セミナーに参加。理念を策定することで普段から北浦さんが思っていることを活字にすることができました。理念を社員に見せた時には「そういうことだね」と同意を得ることができ、自社の軸を確認することで何に集中して取り組めばいいのかということが明確になりました。そして北浦さんは理念から外れないように行動しようという気持ちを持つようになったそうです。

＜これから＞

これからの展望として「今の商売を守る」と語ります。それは守りに入るという意味ではなく、今と同じことだけをしていたら将来の売り上げは必ず落ちる、今までと同じことをやってはいけないということです。そのために昨年12月には社屋を増設することで大型車の搬入・搬出の対応や、求人募集をかけ増員することで社内の若返りを図るなど、「今の商売を守る」ために新たなことに取り組まれています。

今回は長時間のインタビューに快く対応いただき、ありがとうございました。今後の益々のご活躍を祈念いたします。

＜(有)北浦木材＞

「経営理念」

私たちは、建築資材の販売を通じて、適切な情報と知識の提供を行い、快適な住環境創造の一翼を担うと共に、関わるすべての人に感謝しその幸せを追求します。

〒855-0002 島原市洗切町丙4-1

電話：0957-62-4803 FAX：0957-62-4509

(文責 事務局 田口 友廣)

新入会員の皆さんです＜1月入会・復会＞

<入 会>

支 部 名	大村支部			
氏 名	こやなぎ ゆかり 小柳 佑香里			
企 業 名	RAID (レイド)			
役 職 名	代表者			
企 業 住 所	〒856-0832 大村市本町 330-2-2F			
T E L	090-7167-3678	F A X		
業 種	飲食業			
企 業 P R	お客様との出会いを大切に、洗練された大人の癒しの空間を提供できる事を大切にしています。よろしくお願いいたします。			
スポンサー	徳田 信義			

支 部 名	大村支部			
氏 名	まつもと かずよし 松本 和義			
企 業 名	Home & Room			
役 職 名	代表者			
企 業 住 所	〒 856-0817 大村市古賀島町 94-31 グレイスフル山本 1F			
T E L	0957-20-1881	F A X	0957-50-1880	
業 種	不動産業			
スポンサー	橋口 仁一			

支 部 名	大村支部			
氏 名	みなまた みのる 水俣 実			
企 業 名	水俣技工			
役 職 名	代表者			
企 業 住 所	〒 856-0833 大村市片町 14			
T E L	0957-53-8723	F A X	0957-53-8723	
業 種	建築板金業			
企 業 P R	屋根工事、外壁工事、雨樋工事を行っております。			
スポンサー	谷 信一郎			

支 部 名	諫早支部			
氏 名	やまもと いさむ 山本 勇			
企 業 名	山本建設(株)			
役 職 名	代表取締役			
企 業 住 所	〒854-1111 諫早市飯盛町平古場86-9			
T E L	0957-48-0166	F A X	0957-48-1115	
業 種	特定建設業			
スポンサー	張本 洋二			

支 部 名	佐世保支部			
氏 名	いしまる 石丸 みどり			
企 業 名	エステサロン コンフィアンス			
役 職 名	代表者			
企 業 住 所	〒857-1165 佐世保市大和町130-3			
T E L	070-5271-2945	F A X		
業 種	エステティック			
企 業 P R	フェイシャル、ボディケア(痩身含む)、脱毛、ネイルなど、トータルサポートします。			
前 会 員	石丸 文悟			

<復 会・交 代>

A 10x10 grid of plus signs (+) on a white background. The grid is composed of 10 rows and 10 columns, totaling 100 plus signs.

<復 会>

支 部 名	島原支部			
氏 名	おおまち ゆきひろ 大町 行弘			
企 業 名	昭和プランニング			
役 職 名	代表者			
企 業 住 所	〒855-0068 島原市杉山町甲676			
T E L	0957-62-7772	F A X	0957-64-6529	
業 種	不動産業			
企 業 P R	平成16年に不動産業のことを知らないまま、不動産業を開業し、色々と寄り道しながらなんとか12年が経ちました。おかげ様で皆様から、多分良い意味だと思いますが、不動産屋っぽくないねと言われております。同友会に復会でき、皆様とまた学べることを楽しみにしております。			
スポンサー	北尾 新			

支 部 名	佐世保支部			
氏 名	でばた のりあき 出端 徳昭			
企 業 名	アメニティ環境企画 でばた			
役 職 名	代表者			
企 業 住 所	〒857-0806 佐世保市島瀬町7-7 西沢本店1F			
T E L	0956-24-8111	F A X	0956-24-3566	
業 種	食品小売店・企画コンサルティング業			
企 業 P R	企画、イベント、経営コンサルいたします。佐世保で美味しいモノ屋をやってます。何でもご相談承ります。			
前 会 員	山領 進			

会員活躍

長崎新聞 1月14日 長崎浦上支部 谷川 喜一 会員

長崎新聞 1月17日 諫早支部 佐藤 快信 会員

諫早支部 菅 隆信 会員

県内経済展望2017 <5>

【サービス業】
ひでグループ
代表取締役会長
樋口 省二氏

【建設業】
谷川建設
代表取締役
谷川 喜一氏

若手人材の確保、育成

①「国内経済」は、景気の回復が期待される。②「海外経済」は、景気の回復が期待される。③「国内経済」は、景気の回復が期待される。④「海外経済」は、景気の回復が期待される。⑤「国内経済」は、景気の回復が期待される。⑥「海外経済」は、景気の回復が期待される。⑦「国内経済」は、景気の回復が期待される。⑧「海外経済」は、景気の回復が期待される。⑨「国内経済」は、景気の回復が期待される。⑩「海外経済」は、景気の回復が期待される。

原価や経費増抑える

①「国内経済」は、景気の回復が期待される。②「海外経済」は、景気の回復が期待される。③「国内経済」は、景気の回復が期待される。④「海外経済」は、景気の回復が期待される。⑤「国内経済」は、景気の回復が期待される。⑥「海外経済」は、景気の回復が期待される。⑦「国内経済」は、景気の回復が期待される。⑧「海外経済」は、景気の回復が期待される。⑨「国内経済」は、景気の回復が期待される。⑩「海外経済」は、景気の回復が期待される。



長崎ウエスレヤン大 × 諫早「自然館」

企業PR戦略 大学生が提案

大学生が企業のPR戦略を提案する。①「国内経済」は、景気の回復が期待される。②「海外経済」は、景気の回復が期待される。③「国内経済」は、景気の回復が期待される。④「海外経済」は、景気の回復が期待される。⑤「国内経済」は、景気の回復が期待される。⑥「海外経済」は、景気の回復が期待される。⑦「国内経済」は、景気の回復が期待される。⑧「海外経済」は、景気の回復が期待される。⑨「国内経済」は、景気の回復が期待される。⑩「海外経済」は、景気の回復が期待される。

投稿募集のご案内

DOYU ニュースでは会員の皆様の投稿を募集しております。
企業訪問や支部・地区会等の行事や取り組みなどご紹介下さい。

●文字数/約 500 字

●画像/歓迎します

□掲載/情報広報委員会にて選考

□投稿先/情報広報委員または同友会事務局まで

□メール/ jimu@nagasaki.doyu.jp



折込サービスのご案内

会員企業の皆様で制作されたチラシを広報誌と一緒に会員に配布するサービスを行っています。

毎月10日迄に事務局宛お届け下さい。発送は毎月15日～20日に行います。支部指定も出来ます。

A4チラシ1枚5円です。A3チラシは2枚分となります。ご利用お待ちしております。

2月理事会 議事録 抜粋

2月2日(金) つくば倶楽部

開会挨拶－松尾代表理事

賀詞交歓会では皆様本当にご協力ありがとうございました。多くのご来賓にもお出でいただきたいへん良かったですと思います。しかし、600名達成パーティーができなかったことが残念でした。期末までまだ時間はあります。全国では仲間が増えています。私たちも総会までもっと仲間を増やしていきましょう

仲間づくりについて

1)入会2名・復会1名・退会1名・企業変更1名を承認

2)仲間づくりの進捗状況・具体的活動状況について

西山仲間づくり委員長総括(仕事の都合上急遽欠席のため峰事務局次長より)昨日仲間づくり委員会を開催

1.オブザーバリストを基に各支部の期中必達目標を確認

浦上5 出島3 大村3 諫早2 島原1 佐世保1
北松浦1 五島(がんばります) 計16名
(理事会で支部長にも確認)

2.「ゲスト」について－会外の「オブザーバー」を「ゲスト」と呼称変更してはどうか？

現在諫早支部のみ、オブザーバーをゲストと呼称している。温かみを感じる。呼称変更は強制ではないがいかがでしょうか？

→(協議)各理事に意見を求め、温かみを感じていいという意見が多くことから今月より「ゲスト」に統一

松尾代表理事－甘いのではないかな？目標数は今月分と思いました。2月は○名、総会までに□名必達という熱意を感じたい。まだまだ積み上げは可能です。最後まで支部長・委員長を中心に成果を出すためよろしくお願ひ致します。

協議・承認事項

1)2017年度に向けて

①予算案に関して

前回決議事項の「支部活動費を前年と同様の1,000円、拡大還元金は削除」を受け、五島支部交通費、青年経営者会活動費、ダイヤモンドクラブ活動費は減額せず前年同様とし、約50万円の赤字となる予算案の提案を承認

②人事に関して

・9月をめどに正式な実行委員会を立ち上げるための「全研準備委員長」として、金井副代表理事を推薦
・橋口共同求人準備委員長について－理事ではなく、必要に応じて三役会・理事会に出席いただくことを承認

③第46回定時総会について
(前回理事会までの決定事項)

4月18日(火)ホテルニュー長崎 14:00～。
また記念講演講師を熊本同友会 早咲代表理事に依頼

(今回提案事項)

・記念講演テーマ

「100年後の元気な熊本の未来を創る ～失敗を糧に悔しさをバネに 苦しみを優しさに変えて～」

・来賓案内先

上記を承認

④来期のスケジュールについて

・最新版の年間予定表をもとに確認及び未定の支部には決定を依頼

・吉澤支部長－経営フォーラムは10月開催を考えています

⑤議案書について

・県各委員長の活動方針案を承認

・議案書の在り方(前向きなスリム化)について承認。
データ化を推進

⑥各支部議案書原稿提出について

→各支部議案書原稿の内容については支部役員会で確認後、現総務委員長に取りまとめて事務局への提出を依頼(2月22日(水)締め切り)

2)賀詞交歓会の振り返り

・祝演のお二人の祝演はたいへんすばらしかった

・委員会アピールの内容について、再度検討が必要ではないか？

3)長崎同友会ポスター作成について

・デザインについては継続審議(色・書体・経費等)

・会員への配布については、事務局より郵送、送料は県で負担する

報告・連絡事項

1)1月県本部・各委員会・各支部等の活動状況について

2)例会について(更なる例会の充実をめざして)

(山口例会委員長)

出席率40%の目標に対し、上半期はよく行っていると思っていたが、下半期は雲行きがあやしくなってきた。今期委員会をあと2回(北松浦支部・長崎浦上支部例会時)行います。最後までよろしくお願い致します。

3)中同協 主要行事の紹介

4)中同協役員の在り方について

中同協幹事会で提示されました。

5)1月10日(火)公正取引委員会来局報告

(峰事務局次長)

「下請取引等改善協力委員」にこれまで宮田委員長に就任していただいていたが、任期満了に伴い、大村

支部 徳田信義会員に就任を快諾いただきました。(製造業での依頼あり)

6) 1月11日(水)中小機構九州 中小企業大学校直方校山脇校長来局報告(山田事務局員)

中小企業と地域の更なる支援のために、人材育成の研修等をぜひ活用願いたい。との依頼あり。広報誌3月号に2017年度年間研修予定チラシを挟み込み予定

7) 1月13・14日(金・土)中同協第3回(新春)幹事会参加報告

※詳細は広報誌をご覧ください

(松尾代表理事)

参加者が年々増えてきています。各県の取り組みには驚かされます。設立間もない県の方がすばらしい取り組みをされています。長崎同友会は歴史はありますが、他県を見習って取り組むべきものには取り組んでいきましょう

(金井副代表理事)

7月の全国総会に向けての大切な幹事会です。企業づくり・同友会づくり・地域づくり等課題は多いです。最近ではエネルギーシフトについても議論しています。各県の景況を直接知れることも刺激になります

(峰事務局次長)

私のグループでは会費のあり方についての議論もなされました。広浜幹事長が「同友会の立ち位置を明確に、皆さんは同友会の歩く広告塔ですよ」と強調されていました

8) 1月16日(月)サービス産業生産性向上セミナー参加報告(峰事務局次長)

長崎市でジャパネットたかた前社長 高田 明氏の講演会があったセミナーです。各地でも開催されています

9) 2月1日(水)第14回長崎サミット参加報告(峰事務局次長)

5年後10年後あの場所(壇上)に同友会がいのる様に頑張っていきたいと思いました

10) 2017年度支部移動告知について

毎年この時期に告知しています。理事会後にFAXに

て配信します

11) 3ヵ月会費滞納者について

1名(退会の申し出あり・会費は未納)

12) その他

・福島同友会創立40周年記念大会について-2月24日(金)(2月1日e.d.o.y.uに掲示済みです)

留意事項

1) 2017年 中同協役員研修会について→大村で開催することを決定(2015年11月理事会)

※5月25・26日(木・金) / 長崎インターナショナルホテル開催の方向

2) 2019年中小企業問題全国研究集会(全研)について・ニュー長

立食1000名、椅子800名、分科会対応約5室

・ベストウェスタン

立食1000名、椅子900名、分科会対応最大6室

※中同協確認事項最大1000名(上限を設ける)でも全国大会開催可能

→長崎市で開催することを決定(2015年11月理事会)

※実行委員長の検討開始→今回 準備委員長決定

2018年2月兵庫全研よりキャラバン開始。候補日2019年2月21・22日と2月28日・3月1日(木・金)

(ランタンフェスティバル終了後)

閉会あいさつ-金井副代表理事(抜粋)

初めての三元中継理事会、松尾代表理事、辻支部長、お疲れ様でした。予算案もスムーズに、また仲間づくりの目標も決まり、各委員会方針案の前向きな内容も良かったと思います。松尾代表が東京からのweb参加だったせいか、いつになく厳しかったと思います。来月もよろしくお願い致します。

※次回日程-3月理事会(現新理事会)
3月1日(水)-つくば倶楽部

会員消息

会 員 数 (2月1日現在)

	浦上	出島	大村	諫早	島原	佐世保	北松浦	五島	合計
目標	138	115	80	100	70	145	55	32	735
期首	113	88	68	73	56	122	44	25	589
現在	109	87	75	69	61	123	44	24	592

退会者(敬称略)

会員名	会社名	支部名	入会年月
金谷敬子	リンバエステAn・Leaf(アン・リーフ)	佐世保	2016年9月

●企業住所等変更

李 泳勲 会員(長崎出島支部)

新住所:〒850-0862 長崎市出島町1-43

ながさき出島インキュベータD-FLAG 106号

新TEL番号:095-800-5100 新FAX番号:095-800-5782

柴崎 達泰 会員(島原支部)

新会社名:(株)EB TEC

新役職:代表取締役

本多 勝一郎 会員(島原支部)

新役職:代表者